

陳情 23 - 5 (写)

旧下谷小学校跡地を公園にすることについての陳情

3月11日の東日本大震災では、遠く離れた東京に住む我々にも今まで体験したこともない大きな揺れを実感し、恐れと恐怖を覚えたのは私だけではないと思う。

東上野地域は中小の多く商業・住宅ビルが建ち並んでいる。この度の地震では、建物の内にいた人たちの殆どは外の道路の中央に飛び出していた。建物の中にいられない状態である。

近くの西町公園には多くの人たちが集まり避難していた。

旧下谷小学校は築80余年を経ている。その間耐震補強の工事はされていない。平成3年バブル経済の頃、国際会議場などイベントホール構想を安易に立ち上げたがすぐに挫折、延々と先送りの後、凍結・白紙になったその間、約20年。区は、廃校後約10年間、幾つかの学校に貸したことは学生を危険にさらした事になる。

日本列島は今まで多くの自然災害・人的災害を体験してきた。台東区は上野公園と隅田川に沿って公園があるが絶対的・面積が足りない。災害時には公共の公園が非常に大切な役目をする事は周知の事実である。特に建物が出来れば出来るほど、人が多くなればなるほど必要性を増す。これからの時代、また次の時代を思うと、もっとより多くの空き地、緑、公園が必要である。

ここで旧下谷小学校跡地を公園にすることを希望し陳情する。

以上

平成23年5月23日

台東区議会議長

青柳雅之殿